

20地一建第1027号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

波田町長 太田 典男



今後の道路行政についての意見・提案について（提出）

貴職におかれましては、益々ご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。

日頃は、道路行政につきまして、ご尽力を頂いていることに対し、厚くお礼申し上げます。

この度、ご依頼のありました標記の件につきまして、別紙のとおり提出しますので宜しくお願い致します。

長野県東筑摩郡波田町4417-1
波田町役場・地域づくり課
TEL 0263-92-3001

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

長野県波田町

・道路特定財源制度は21年度から一般財源化されるが、地方財政に影響を及ぼさないように処置し、地方の必要性な道路は着実に整備願いたい。

・道路の維持補修、管理に対する財源確保をお願いしたい。

コンクリート製品の劣化による補修が必要な道路が増えている。歩車道境界ブロック、道路側溝等の改修が必要となっている。

・歩行者への安全対策の為に歩道整備、道路の安全対策施設整備の充実、交差点改良、踏切改良事業等の充実が必要である。

②-1 地域の現状と抱える課題

○現状 地域の生活基盤や産業基盤として非常に重要となるのが道路網の整備であります。波田町においては「中部縦貫自動車道」といった基幹道路の起点として位置づけられたものの、国県による公共事業の縮小等により進捗していないのが現状であります。 また、既存幹線道路の状況においても、国道158号線と県道上竹田波田線の交差点についても、松本電鉄が平行しており幅が難しく、南北道路の整備が立ち遅れているとともに、渋滞の原因となっております。	○課題 ・南北幹線の整備は、地域の発展には必要不可欠な基盤である。 ・松本平らの西部地区の交通の要衝となる道路網の計画が、示されており、松本平らの発展、波田町の発展のために道路整備を促進する必要がある。 ・南北幹線の整備は、県道がスムーズに接続されておらず、国道、鉄道横断部分が危険であり、また、町道森口線が幹線道路的に利用され、沿線住民の生活環境が悪化しております。 ・国道と鉄道が東西に平行しているため、南北道路は交通安全上大変危険である。 ・小学校周辺の国道は歩道未整備で大変危険な状況である。
--	---

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ③

②-2 地域の目指すべき将来像

長野県波田町

○現状

- ・国道158号線は、行楽シーズン等に渋滞となり、町民生活に大きな影響を与えています。一方、南北幹線道路は、国道と鉄道が平行に走る地理的な制約や、既存住宅が立ち並んでいることによって幅員が狭く歩道が未整備の状況です。
- ・松本波田道路波田インターにアクセスする東西、南北幹線道路が未整備であります。

○課題

- ・渋滞対策道路の問題解決と、通過車面を誘導する南北幹線道路などの総合的な道路網の計画策定と、中部縦貫自動車道の早期整備の推進が必要。
- ・南北幹線道路は松本電鉄との交差方法が課題。
- ・東西幹線は松本市新村へつながる渋滞対策道路のルート選定が課題。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

長野県波田町

③ 道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○現状 ・中部縦貫自動車道(長野道～波田IC)都市計画決定 ・国の道路中期計画(10年間に位置づけされた(グループ1) ・渋滞対策道路(国道158号線バイパス道路) ・下島～車坂L=4.5k(整備中) ・県の中期計画(5年)に位置づけられた ・先線(下島～松本市) ・事業化に向けて懇談会、調査検討する箇所に位置づけられた。 ・松本系魚川連絡道路(100kの高規格道路) ・起点を含めた調査が県により行われている。 ・筑摩野幹線道路(波田～塩尻市) ・松本都市圏都市交通マスタープランへ位置づけ。	○期待する効果や評価等 ・高速道のネットワーク機能を確保し産業観光の発展に寄与できる。 ・松本平西部地区の幹線道路構想により、渋滞の緩和及び産業観光の発展に寄与できる。
---	--